

# 「事業名：早稲田大学ふくしま浜通り未来創造リサーチセンター事業」 2020年度補助事業の実績・成果

**早稲田大学 連携市町村：広野町**

**連携市町村との協定締結日：2019年1月18日**

**現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼総合公園管理棟**

## 事業のポイント

- ・ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ（SI構想）の具体化とアクションを通じた社会実装
- ・実践を通じた社会実装スキームの浜通り地域全体への広域的展開
- ・地域社会の持続可能性研究における社会的ソフトづくり（熟議の場の構築）と浜通り地域の広域連携のネットワークを構築
- ・対象となる自治体、地域のNPOなどの市民団体、大学の3つの連携を基本単位とする地域課題に基づくアプローチの実践

## 今年度の活動実績

### 【SI構想の3本柱の具体化】

- ① 1Fの事故遺産・記憶遺産としての利活用（1F Heritage Initiative）  
「1F廃炉の先研究会」6回、1F廃炉プロセスの地域資源化に関する地域対話会合（3者会合）3回開催  
福島復興という視点や福島原発事故の記憶の未来世代への継承といった多様な社会的評価軸から1F廃炉の先のあり方を検討
- ② 地域アートの展開による地域の新たな魅力の創造  
他の事業も活用し、地域でのアート+文化芸術による地域の魅力づくり・再生活動の具体化と実践
- ③ 国際芸術・学術（Arts & Sciences）拠点構想  
さまざまな分野の専門家、地域の実践者で構成するA&S研究会を11回開催  
福島国際教育研究拠点における社会科学分野のテーマづくりに言及  
5大学協働・福島復興シンポジウムを2回開催し、復興知事業の参加大学との協力関係構築

## 今年度の成果

- ・多世代・多地域・多分野の「場」の形成による地域還元・人材育成実践  
ふくしま学（楽）会を通して、多様なアクターが世代や立場による「しがらみ」を越えた議論・交流の場を構築し、高大連携による人材育成のロールモデルを構築
- ・SI構想の社会実装と福島復興における社会科学分野研究の構築  
SI構想の3本柱を具体的なアクションに落とし込み、地域に根ざした継続的な社会変革を促進する研究基盤・研究者ネットワークを構築

